

今回のインタビューは、公衆衛生推進協議会（公衛協）の活動を通じて、将来にいい環境を残そうと活動されている広瀬俊明さんにお話を伺いました。

聞き手／宗像 啓之 委員



「いきいき健康

すみよいふるさと」に向けて

海田町公衆衛生推進協議会会長

ひろせ としあき
広瀬 俊明さん

公衛協の運営に携わるきっかけは何ですか。

十 一年前、自分の住んでいる自治会では、公衆衛生推進委員をする人がいないため、自治会長が兼務されていた。自治会長との兼務が大変だと言ったことで、私に依頼され、受けることになりました。

どんな活動をされていますか。

海 田町は、企業からも健康感謝募金を頂いており、他町にない活発な活動をしています。主な活動は、瀬野川クリーンキャンペーン、エコと瀬野川環境フェア、薬剤配布、毎月の資源ゴミの回収のお手伝いなどです。

現在一番力を入れて活動されていることは何ですか。

現 在は、フウセンカズラ、ゴーヤやアサガオを使った地球温暖化対策のための「緑のネットワーク」に力を入れています。また、これらの活動を次世代につなぐために各小中学校に出前講座を行っています。

今後、どのような活動をしたいと思われますか。

公 衆衛生は、薬剤散布やゴミのお世話が普通ですが、本来は公衆の皆さんの生命と生活を「衛（まも）る」ことです。そういう意識を持った若い人が入ってくることができるようになりたいと思います。

本日はお忙しい中ありがとうございました。



資源を大切に（エコと瀬野川環境フェア）